

産業応用フォーラム

「需要設備の電力品質向上と保全高度化を実現するデータ利活用技術」

概要： 需要設備の保全の効率性と安全性を向上させるため、スマート保安の加速的導入が検討されています。しかし、スマート保安の実現には、設備の劣化を表す指標やパラメータを定量化・定式化することが重要であり、そのためには、保全に関するデータを多く蓄積してビッグデータ化することが急務となっています。また、設備の劣化要因分析、設備劣化の影響評価、故障モデルの作成などを、AIを用いて実現するなどの高度な劣化予測技術・劣化診断技術の確立が必須です。さらには、有用な保全データを蓄積するには、計測精度などのデータの信頼性の確保や、データ項目やデータ形式などの保全データ体系の共通化が鍵になります。上記目的を達成するため、「需要設備の電力品質向上と保全高度化を実現するデータ利活用技術」（委員長：西村和則、設置期間：2022年5月～2024年4月）を組織し、各業態で異なる保全データ体系を、分析や活用をできるデータ形式に一元化するための課題、及び、保全データを適正な方法で計測・取得するための方策、計測技術やデータ形式の共通基盤整備達成のための課題などを調査し、調査結果を電気学会技術報告として出版しました。本フォーラムでは、調査を実施した委員会のメンバーを講師とし、需要設備の保全分野に関心のある技術者、研究者、学生等の皆様を広く対象として、技術報告を解説いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時： 2025年12月2日（火）13:30～17:00

会場： 電気学会 会議室 および ZOOM によるオンライン参加 のハイブリッド開催

東京都千代田区五番町 6-2 HOMAT HORIZON ビル 8 階

JR 総武線（中央線各駅停車）市ヶ谷駅下車、徒歩 2 分

TEL: 03-3221-7312 <https://www.iee.jp/wp-content/uploads/honbu/31-doc-honb/map.pdf>

プログラム：

- 13:30-13:35 開会、主催者挨拶 技術委員会委員長 石田 隆張（日立製作所）
- 13:35-14:15 基調講演 スマート保安の推進に向けた取組 東瀬 貴志（NITE）
- 14:15-14:35 技術報告の全体構成 小林 浩（トーエネック）
- 14:35-14:55 部分放電監視による設備診断技術（2章から） 牟田神東達也（明石工業高専）
- 休憩（15分間）
- 15:10-15:30 受変電設備の診断判定技術（3章から） 久保田正治（東芝）
- 15:30-15:50 受変電設備における環境センシング技術（4章から） 千林 暁（日新電機）
- 15:50-16:10 メタバース及び生成AI活用による保全高度化（5章から） 佐藤 江里子（日立製作所）
- 16:10-16:30 データ利活用におけるリスクマネジメント（6章から） 中村 格（鹿児島工業高専）
- 16:30-16:55 総合まとめ、総合討論 西村 和則（名古屋大学）
- 16:55-17:00 主催者挨拶、閉会

司会進行：西村 和則（名古屋大学）

テキスト： 電気学会技術報告 第 1583 号「需要設備の電力品質向上と保全高度化を実現するデータ利活用技術」をテキストとして使用します。希望者は、[電気学会電子図書館](https://www.bookpark.ne.jp/ieej/)から各自で購入してください。

電気学会電子図書館：<https://www.bookpark.ne.jp/ieej/>

（価格：冊子印刷：一般価格 4,620 円／会員価格 3,234 円，PDF ダウンロード：一般価格 6,930 円／会員価格 4,851 円，いずれも税込）

参加費： 会員（正員） ¥6,000-（税込） 非会員（一般） ¥10,500-（税込）

会員（准・学生員） ¥3,000-（税込） 非会員（学生） ¥4,200-（税込）

申込方法： ホームページからお申込みください（締切 11 月 21 日（金））：<https://www.iee.jp/blog/forum/>

申込フォームの備考欄に、参加方法（現地参加、または、オンライン参加）を入力してください。

会場定員 40 名、総定員 250 名に達し次第、それぞれ締め切らせていただきます。なお、定員を超えた場合には、会員を優先しますので、ご了承願います。（非会員の方は、是非この機会に電気学会へのご入会をご検討下さい。）

問合せ先：（株）トーエネック 小林 浩 E-mail：hiroshi-kobayashi@toenec.co.jp

参加費支払方法： 現地参加、オンライン参加に関わらず、Web からのクレジットカードによるお支払いとなります。決済後は Web サイトにて領収書が発行されます。

主催： 電気学会産業応用部門スマートファシリティ技術委員会（委員長 石田 隆張）